



2026 年 10 月 21 日

第 32 回「急性骨髄性白血病」アンケート結果の報告

2026 年 10 月 14 日(水)に開催いたしました表題セミナーのアンケート結果をご報告申し上げます。
当日は、オンラインで 229 名の方にご参加いただき、108 名の方々からアンケートの回答を頂きました。
頂きましたコメントは、数が多いため重複する内容をまとめたり、一部抜粋したりして紹介しています。
たくさんのご意見を頂きましたことに感謝申し上げます。

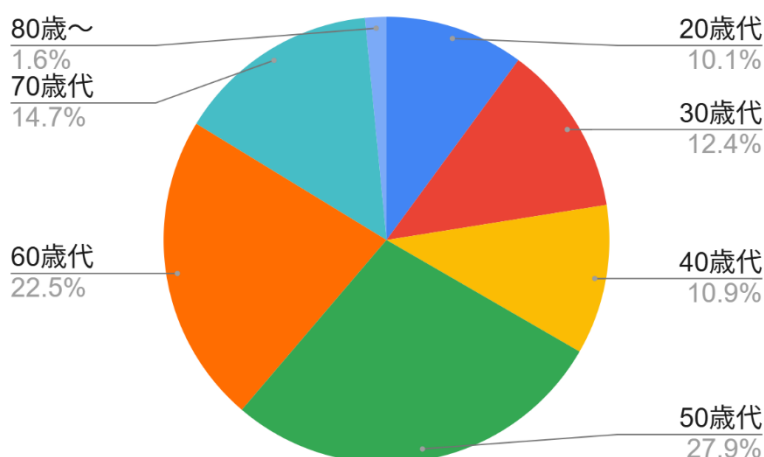
1. お住いの都道府県を教えてください (n=108)

県名	人数	県名	人数	県名	人数	県名	人数
東京都	23	京都府	4	山形県	2	山口県	1
大阪府	9	宮城県	4	福島県	1	埼玉県	1
愛知県	9	福岡県	3	奈良県	1	香川県	1
神奈川県	7	広島県	3	栃木県	1	群馬県	1
石川県	6	茨城県	3	鳥取県	1	宮崎県	1
兵庫県	5	北海道	2	静岡県	1	岐阜県	1
長野県	5	富山県	2	青森県	1	愛媛県	1
滋賀県	5	千葉県	2	新潟県	1		

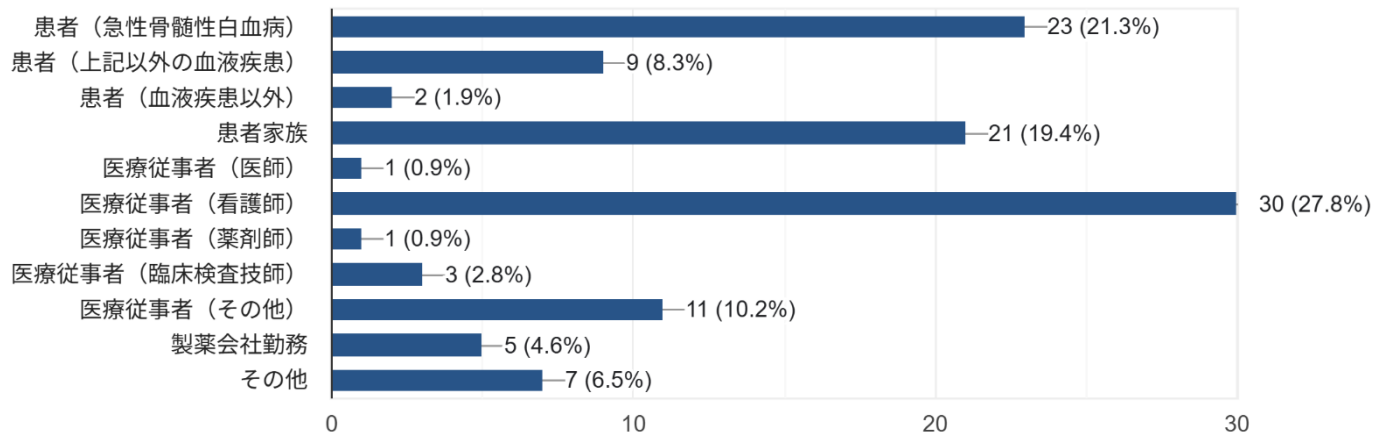
※参加者のいない都道府県は省略しています。

2. 年代を教えてください (n=108)

年代	人数
～19歳	0
20 歳代	6
30 歳代	16
40 歳代	18
50 歳代	33
60 歳代	19
70 歳代	11
80 歳～	5



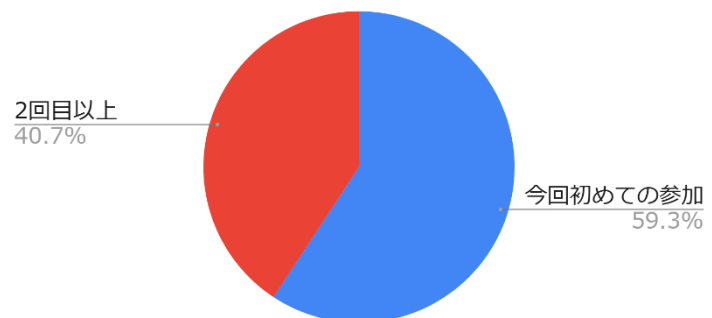
3. お立場を教えてください (n=108)



その他詳細：CRC、HCTC、骨髄バンクコーディネーター、ケアを志す者、医療通訳、企業内支援者、作業療法士、歯科衛生士、血液がんについて認識をより深めたいと願っている者

4. 血液がん知っとかナイトへの参加は何回目ですか (n=108)

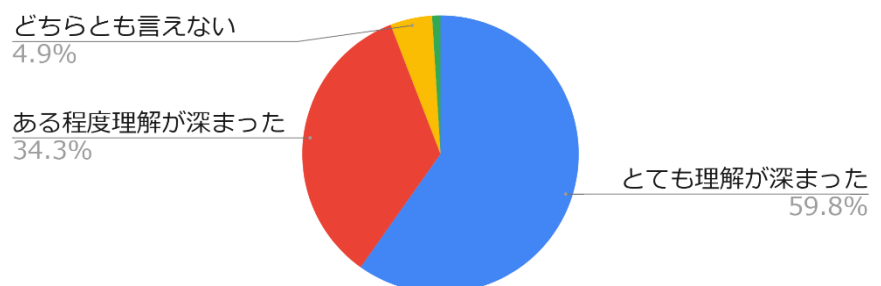
今回初めての参加	64
2回目以上	44



5. 今回のテーマ「急性骨髄性白血病」に関する理解度を教えてください(講演視聴者のみ)

(n=102)

理解度	人数
とても理解が深まった	61
ある程度理解が深まった	35
どちらとも言えない	5
どちらかという理解できなかった	1
全く理解できなかった	0



6. 上記で回答した理由を教えてください(抜粋)

【とても理解が深まったと回答した理由】

- ・ 2022 年暮れに移植を受けました。当時治験でしか使えなかった薬が現在では標準治療になっていることや、遺伝子異常に対する治療の選択肢が更に増えたことを知ることができました。今後再発をしたらもう治療はしないと決めていましたが、QOL を下げずに生きていく道があるのならば、頑なになるのではなく、本日講演された山本先生が仰っていたように、主治医と対話をして一緒に決めていってもいいのではないかと思います。移植後の再発はしていませんが GVHD や帯状疱疹、蚊に刺されて以上に腫れるなど日常生活は困難の連続です。ですが多くの方に助けていただいた命ですので希望をもって生きていきたいと思います。このような機会を設けていただき、皆様本当にありがとうございました。

- ・ AML の動向や検査についてわかりやすかったです。
- ・ AML の病態や治療について無知でしたので、1 から学ぶことができとても有意義な時間だったと思います。
- ・ これまでも AML のお話を受講いたしましたが、最新の治療について情報が追加されていて勉強になりました。
- ・ もともと勉強していた中でいくつか新しい知識を得られました。
- ・ リスク分類してからの治療がわかりやすかった
- ・ 過去の治療から現在の最新の治療内容まで解説してくださり、とても分かりやすかったです。
- ・ 看護業務に直接役立ちます
- ・ 最新医療の選択肢がわかり、病院による差異があることも理解できた。
- ・ 治療中は、ゆっくり考える時間がもてなかったけど、移植から3年ゆっくり考え、向き合ってきたのでしっかり理解ができた。
- ・ 自身の疾患とは違うので初めて聞く言葉も多かったのですが、わかりやすくご説明いただけました。
- ・ 自分でも調べたりしてますが、はじめて聞く治療法や‘今’の話が聞けて良かったです。
- ・ 新しい治療法やデータを知ることができたため
- ・ 先生のご説明が分かりやすかったです。
- ・ 丁寧な説明で資料も見やすくわかりやすかったです。患者本人と一緒に視聴させていただきました。病気の性質上仕方のないことなのですが、生存率に触れる表やお話の時は、つらくて音声を小さくしてしまいました。
- ・ 白血病の概要や、最先端の治療方法を知ることができたからです。そして実際の患者さんのお話を聞くことができ、色々な環境の中で闘病生活をされている方を知り、勇気をもらえました。
- ・ 臨床検査技師としてはあまり携わることのない治療の流れについて理解できました。

【ある程度理解が深まったと回答した理由】

- ・ 家族が「急性骨髄性白血病」と診断されて間もないので、なんとなくは理解できたが、AML 等のアルファベットの名称は難しい。
- ・ 基本的に噛み砕いて説明していただいているので、非常に分かりやすかったです。私の知識不足についていけない事がたまにあったのと、講義の瞬間は理解できていても、実際にカルテを見た時に繋がらず定着していないと感じた。
- ・ 今まで関わりのない分野でしたので、大変勉強になりました。知識としてはまだまだですが、少しでも患者さんに寄り添えるようにもっと勉強していきたいと思います。
- ・ 治療方針はその人にあわせて無理なくすればよいのだとおもいました。
- ・ 治療方法が増えてきたことは、今後の参考になりました。
- ・ 所々に分からない用語が有り、それでその部分の理解が出来ないところが有りました。
- ・ 色々修得出来ましたが、奥はまだまだ深いと再認識しました。
- ・ 素人にもわかりやすい説明だと思いました。
- ・ 他の血液がん患者なので、初めて聞く薬など戸惑うことも多かったが、十分でないが概要等それなりの理解を得ることができた。
- ・ 短時間だがわかりやすかった

- ・ 同じ急性骨髄性白血病でも様々な治療法の開発が進んでおり、病態により治療手段の最適な選択が得られている事。
- ・ 分かりやすい図でポイントを絞った説明
- ・ 薬剤について知識が深まった。

【どちらとも言えないと回答した理由】

- ・ 横文字のお病気の名前や薬などよくわからなかった。自分はベネクレクタとアザシチジンの注射をしているが、それが VEN+AZA という治療という解釈でいいのでしょうか？これがどのくらい続くのか？はわからないんですね？
- ・ 専門用語が多すぎて難しかった。
- ・ 途中からの参加でした。申し訳ございません。
- ・ 難しい医療用語があった。
- ・ 今まで主治医の先生よりご説明いただいた内容でしたので、理解が深まったとも言えず、内容が理解できなかったわけでもないから。

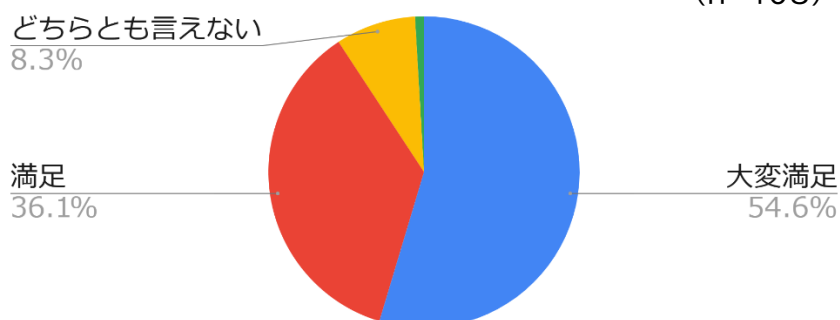
【どちらかという理解できなかったと回答した理由】

- ・ 専門用語の理解不足している

7. 知っとかナイト「急性骨髄性白血病」に参加して、最も当てはまるものを選択してください

(n=108)

理解度	人数
大変満足	59
満足	39
どちらとも言えない	9
どちらかという不満	1
不満	0



8. 上記で回答した理由を教えてください(抜粋)

【大満足と回答した理由】

- ・ 「ドナー不在で移植できない」時代ではなくなった背景がとても良く理解できた
- ・ AML の内容の勉強もそうですが、先生方が患者さんや家族の方にどのようなことを説明されているかについても勉強になったため。
- ・ Web で気軽に参加できる
- ・ いろいろ丁寧に説明していただきました。
- ・ データが豊富
- ・ わかりやすい内容だったため
- ・ 移植を予定しているため、慢性 GVHD について全身の臓器にどんなことが起きる可能性があるか、見やすい表で理解が深まりました。同時に怖くなりました。
- ・ 開催者と先生方の熱意が伝わっていました。イベント開催どうもありがとうございます。
- ・ 学生の時に学んでから月日が経っており、最新の治療法等が聞けアップデート出来ました。
- ・ 患者さんの現実的な悩みについて情報が多かったから

- ・ 患者に寄り添ったお話しが多々あって頑張ろうと思えました。
- ・ 希望をもらえた。
- ・ 教科書以外の生の先生のお話が聞けた
- ・ 講師、座長の方の、患者と共に病気に対峙する姿勢に好感が持てました。
- ・ 最新医療の選択肢がわかり、病院による差異があることも理解できた。
- ・ 山本先生の教え方がとてもわかりやすかったです。
- ・ 山本先生の説明、スライドがとても分かりやすかったことと、とても誠実に質問に答えていただいたことです。
- ・ 私の質問にととても丁寧に答えて頂きました。
- ・ 自分が知りたいと考えていた内容が質問されて、その回答が先生から示された事。医師とのコミュニケーションが大切である事を再認識出来た事。
- ・ 自分のだけでなく他の方の治療についても知ることができ、つながりを感じることができた
- ・ 質疑応答をしていただけたのありがたい
- ・ 主治医からも説明を受けていますが、違う先生から病気のこと、治療のことを聞くことができ理解しました。
- ・ 先生や古賀さんの温かな人柄が伝わって単なる勉強会というだけではなく、患者さんのことを包み込む優しさも感じられ、視聴させて頂いて良かったなと思いました。
- ・ 前半のお話ですが、質問に回答頂き、また別の患者さんの質問も参考になりました。
- ・ 誰でも申し込めて質問が公開されるため、患者や家族の気持ちや考えを聞くことができたから。
- ・ 不安が和らいだ内容でした。

【満足と回答した理由】

- ・ AMLについて、二次がんについて教えていただきよくわかりました。
- ・ Q&A では患者さんの声も聞くことができ、より一層医療に貢献したい気持ちが強くなりました。
- ・ この病理についても知識が深まりました。
- ・ とてもためになる話だったのですが、英語の専門用語がわからないことが多々ありました。事前のメールなどに出てきそうな用語を紹介していただけたら嬉しいです。
- ・ 急性骨髄白血病の仲間が多くいる事を知り、その人たちの努力に対して敬意を持ちましたし、自分の闘病に大いに励みとなった。
- ・ 最近の動向と治療効果が知れて理解しやすい内容だった
- ・ 前半間に合いませんでした…。後ほどアーカイブで見させていただきます。
- ・ 他の血液がん患者なので、初めて聞く薬など戸惑うことも多かったが、十分でないが概要等それなりの理解を得ることができた。MDS の患者として、今後も理解を深める第一歩として。
- ・ 知識の再確認ができたこと
- ・ 難しい内容だったが、知らないことを少し知れて良かった。病気への向き合い方を学べた。
- ・ 理解できる部分が増えました。

【どちらともいえないと回答した理由】

- ・ 「急性骨髄性白血病」と診断されて間もなく、高齢者で他に疾患を持っていて、遺伝子検査結果予後不良で移植の選択を考えられない患者の事例を聞いてみたかった

- ・ 既に移植が終わっているのである程度知っている話でした。医療従事者も参加されていたので難しい用語も仕方がないのかもしれませんが、その辺りは良く分からなかったです。質疑応答は参考になりました。
- ・ 視聴開始が8時20分頃になってしまった
- ・ 充分理解できない項目があった
- ・ 知っている部分も多々あったので
- ・ 難しい医療用語があった
- ・ 薬の投薬期間や入退院のサイクルを具体的に知りたかった。
- ・ 患者家族として治療法が進歩していることはとても嬉しいと理解できます。しかし、それらの治療が果たして快方に向かわせてくれるのだろうかという不安がぬぐい切れないからです。先生のお話が云々ということではありません。

【どちらかという不満と回答した理由】

- ・ 自分の勉強不足もありますが、上にも書いた通り横文字や治療名などよくわからない言葉があった。私の耳も悪いのですが、言葉が小さく明瞭でなく、良く聞き取れなかった。

9. 今後取り上げてほしい血液がんに関するテーマがあれば教えてください

- ・ APL について
- ・ AYA 世代の妊孕性のことについて、移植時の放射線治療での卵巣遮蔽について
- ・ CAR-T 療法
- ・ GVHD について
- ・ MDS(低リスク)の予後について
- ・ MDS と AML について
- ・ SDM
- ・ アミロイドーシスについて
- ・ インターフェロン製剤の適用性
- ・ ヘムサイトについて
- ・ 悪性リンパ腫
- ・ 移植について
- ・ 移植後の慢性 GVHD
- ・ 各リンパ腫の特徴や治療について
- ・ 「急性骨髄性白血病」を何回か続けてほしい
- ・ 急性骨髄性白血病の FLT3-ITD と GVHD
- ・ 高齢者の急性骨髄性白血病に焦点をあてた解説が聞きたいです解説が聞きたい。
- ・ 急性前骨髄性白血病
- ・ 血液のがんに関する日本の医療体制の現状を知りたいです。あとは iPS 細胞などの最先端の医学と血液がん治療の未来について。
- ・ 血液癌治療における感染症治療をどう考えるか(抗真菌薬や抗ウイルス薬)
- ・ 血液疾患に対しての世界の取り組み
- ・ 抗がん剤治療とベニロン、ハイキュービアとの併用について

- ・ 骨髄異形成症候群
- ・ 骨髄腫
- ・ 再発しにくい生活や心構え、新しい治療や知見
- ・ 私その他、ALTT、悪性リンパ種の親族がいたので遺伝性等の関係性
- ・ 治療とお金のこと
- ・ 真性多血症
- ・ 血友病
- ・ 白血病と就業の両立支援について
- ・ 白血病の終末期看護
- ・ 副作用の食欲不振・味覚障害になった時の栄養補給と運動強度と体重増減のバランスについて
- ・ 濾胞性リンパ腫の種類やそのグレードについて、再発に関して
- ・ 在宅医療とっていましたので次回も楽しみにしております

10. 運営やその他についてのご意見や感想があればお寄せください(抜粋)

- ・ 2次がんで急性骨髄性白血病を発症しました。そういう方向けの情報があれば知りたいです。
- ・ 9月に家族が「急性骨髄性白血病」と診断されて、心が不安定な時に偶然病院で今回のチラシを見つけて、視聴させていただきました。
- ・ Q&Aの最後に回答を頂いたものです。ありがとうございました。急性骨髄性白血病の治療は、期間も長く、経済的に生活が厳しくなる方も少なくないと思います。そういった困窮している患者が抱えている精神的な不安についてさらに踏み込んだテーマもあっていいのかなと思いました。医師が患者を治したい気持ちもわかりますが、それに応えられない状況の患者がいることも理解していただけると幸いです。
- ・ アーカイブでは質問&回答もぜひ配信していただきたいです。自分自身も気になっている質問が多く改めてよく聞き確認したいと思いました
- ・ アクシデントがあっても冷静に対応していて、安心して聞いていられました。ありがとうございました。
- ・ アクシデントにも関わらず、司会の古賀さんの対応が素晴らしかったです。
- ・ このような活動をととてもありがたく感じています。ありがとうございます。
- ・ コロナ以前のこと分かりませんが、今は病院でも患者同士話しをすることがなく、若い患者さんと同じ悩みを共有できる場がないので、経験された方のお話を聞ける機会があれば参加してみたいです。
- ・ こんな素晴らしい講義を無料で提供してくださり、感謝しています。
- ・ ネットのトラブルがあっても適切に対応していただいたと感じました。
- ・ 医療従事者と患者関係の一般的な人向けに分けて頂けるとありがたいです
- ・ 開催してくださりありがとうございました。山本先生、運営の皆様、ありがとうございました。
- ・ 患者自身がその人らしい選択をできるようにサポートしていきたいと思いました。
- ・ 寄り添ってくださるセミナーを開催していただき本当に感謝しております。先生や医療者の方だけでなくこのような形で支えて下さる方がいたので今の私がいます。本当にありがとうございます
- ・ 後日のアーカイブ配信 事前にお知らせ頂ければありがたいです
- ・ ライブだけでなく、録画を見れるようにしてほしいです。
- ・ 今回は一部で「映像」が出なく、「音声」も不明瞭で有った事が残念でした。

- ・ 司会進行わかりやすかったです。
- ・ 進行が早くグラフを読みきれない。
- ・ 人が生きるということに先生の気持ちがつたわって、日々頑張ろうと思いました
- ・ 折角の ZOOM なので、患者さんの努力の内容を生で聞きたいので、その患者さんを映して(嫌がるかも知れませんが)顔出しを問題ないと云う方々の直接の声を聞きたいです。
- ・ 聴講しやすい時間設定に感謝